22

株式会社 ミューパック・オザキ

https://www.mupack.co.jp/



工場内の様子

新しくて使いやすい、喜ばれる製品を作り続ける

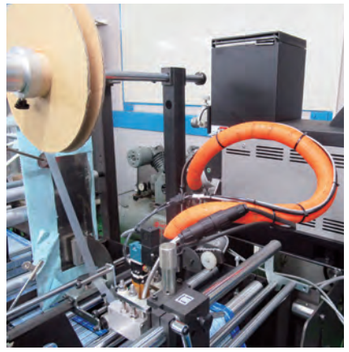
平成29年度 補助事業と具体的成果

■ 事業テーマ

ホットメルト塗布装置で従業員にも環境にも優しい工場を構築

■ 事業概要

ホットメルト接着剤塗布装置を導入した。従来の製袋用接着剤はシンナーで希釈する必要があり、換気装置を備えていたものの、シンナー臭による体調不良や胎児への影響懸念などを理由に退職者がたびたび発生した。そこで工場内に6台あったシンナータイプの接着剤塗布装置を全てホットメルトタイプに入れ替えた。それにより工場からシンナー臭を一掃。また接着剤の間欠塗布が可能となり、フィルム切断時に製品から接着剤がはみ出さないなど、品質・生産性向上にも寄与している。



ホットメルト塗布装置

課題	取組	成果
●従来の接着剤はシンナーで希釈する必要があり、シンナー臭による退職者がたびたび発生 ●接着剤を連続で塗布するため フィルム切断時に刃に接着剤が付いたり、製品から接着剤がはみ出るなどしていた	●シンナータイプの接着剤塗布装置を全てホットメルト接着剤塗布装置に置き換え	●工場からシンナー臭を一掃 ●間欠塗布が可能で、作業効率や品質が向上

■ 業務内容

少量多品種に対応できる製袋メーカー

ミューパック・オザキはプラスチックフィルムの製袋メーカー。昭和55年の創業以来、製袋業界に携わってきた。創業時は写真のネガ用袋が主力だったが、デジタルカメラの台頭で縮小。主力製品はダイレクトメールのプラスチック封筒、文房具の店頭販売用つり下げ袋などへと移り変わってきた。現在はチャック付きの袋が同社売り上げの50％近くを占めている。大手化粧品メーカーのサンプル向けが多い。

チャック付き袋は利便性が良く比較的安価であることから、近年需要が増えてきている。同社は出光興産の保有する特許を使用してチャック付き袋を製造する。この特許はチャック付きフィルムから袋を製造するのではなく、製袋時にチャックを後付けできるもの。そのため袋の大きさやフィルムの種類の自由度が高く、少量多品種の受注を可能としている。

学生とのコラボ商品も手がける

受注生産がメインだが、自社製品も手がけている。平成25年には大阪経済法科大学の授業の一環で、学生とアイデア商品「閉めるだけ～」を共同開発した。チャック付き袋は、ぬれた手で閉めづらいが、同製品をはさんでスライドさせるだけで簡単にチャックを閉めることができる。自社のホームページや大阪府八尾市のモノづくり体験施設「みせるばやお」で販売している。



閉めるだけ～

■ 強みとビジョン

間欠塗布を武器に需要取り込み

接着剤の間欠塗布が可能となり、接着剤ごとフィルム切断することがなくなった。そのため刃に接着剤が付着するなどの課題がなくなり、蓋の両端を切り取った袋の生産が容易になった。同製品は主要顧客である化粧品メーカーからの要望が強く、さらなる需要拡大を見込んでいる。



化粧品ポーチ

他社にはない商品を生み出し続ける

同社は積極的な商品開発で特許を数多く取得している。尾崎育子社長は「他社にできないことを考え、特許で守る」ことが同社の戦略だと話す。多彩なアイデアを活用した製品開発で、他社との差別化を図っている。

「ミュースライダー」は一般的なチャック開閉用スライダーではなく、2つのパーツから成る。色を自由に組み合わせることができデザイン性が高いのが特徴だ。また袋に後付けで着脱できる構造になっている。従来は袋にスライダーを取り付けた後、袋の端を接着する工程が必要だったが、ミュースライダーではその手間が省けるという。

今後はデザイン力強化に注力する。またプラスチックフィルム以外の素材にも取り組む。米デュポンが開発したポリエチレン不織布タイベックや、ラミネート加工を施した紙などにチャック付き袋の技術を応用する方針。



ミュースライダー付きポーチ

今までに無い新しい製品に挑戦し続ける



社名の「ミューパック」の「ミュー」は、突然変異、新人類を意味する「ミュータント」から取りました。今までに無い新しいものを常に追求しており、お客さまの要望にはまず「できない」と言いません。真心を込めて向き合い真摯に対応し、チャレンジ精神を持ち続けています。



代表取締役
尾崎 育子

- **社　名**　株式会社 ミューパック・オザキ
- **代表者**　代表取締役　尾崎 育子
- **住　所**　〒581-0042 八尾市南木の本5−2
- **ＴＥＬ**　072−991−1505
- **ＦＡＸ**　072−993−9946
- **資本金**　10,000千円
- **従業員**　36名
- **主な取引先**　株式会社ヤマガタグラビヤ、株式会社リングストン、株式会社ショーエイコーポレーション、大阪シーリング印刷株式会社、ニックス株式会社
- **主な保有設備**　トタニ式合掌製袋機1台、キョウエイ式サイドシール機1台、トタニ式高速サイドシール機10台
- **主力製品**　スライダーポーチ、チャック付き袋、間欠式ホットメルト付き袋

短納期　企画力　小ロットOK　オンリーワン技術　量産OK　試作OK

REPORTER'S EYE

同社の工場には女性の姿が目立つ。それだけに「胎児への影響懸念」といった女性ならではの理由で退職者が出たことは残念に感じた。一方で女性に限らず、中小企業では人材確保が大きな課題となっている。尾崎社長によると製袋業界ではシンナーで希釈する接着剤の使用は一般的とのこと。今回の設備投資は従業員が働きやすくなるだけでなく、今後の採用にも好影響を及ぼすだろう。